

山形森林管理署 もがみ支署通信

【若手職員交流工場・現場視察を行いました。】

概要説明に聞き入る職員。



加工されたペレットです。



防除作業の現場を視察。



【2月 25日（火）・26日（水）】山形森林管理署と山形森林管理署最上支署に所属する若手職員の交流を図ることを目的として、庄内地域の林業関連の工場・現場視察を行いました。

庄内地域を管轄する庄内森林管理署の協力も得て、初日は松くい虫の被害木を有効活用し、バイオマスエネルギーとしてチップやペレットに加工している「株式会社渡会電気土木 田代工場」を視察しました。

この工場では、松くい虫駆除処理後のクロマツをチップやペレットに加工しているほか、木の根や枝葉などはバークに加工してマルチングや土壌改良剤として使用するなど、無駄なく資源を活用されていました。

二日目は、庄内海岸エリアで行われている松くい虫防除の現場を視察しました。松くい虫被害が急激に広がった庄内海岸全域では、人的・物的被害の恐れがある緊急度の高い箇所から処理が行われていて、海岸林の機能を低下させないよう抵抗性マツへの更新のため高性能林業機械を活用し効率的に実施されていました。

普段は目にする事の無い工場等を視察できた若手職員からは、活発な質問・感想があった交流会となったところです。

【最上地域森林・林業・木材産業推進セミナーを開催しました。】

最上支署からも情報提供。



1班からは終始笑い声が。



2班も建設的な意見多数。



【3月6日（水）】鮭川村エコパーク木の子の森センターで最上地域林業振興協議会が主催する最上地域森林・林業・木材産業推進セミナーが開催されました。今年度はキノコ生産に活用されている「おが粉」の供給関する事がテーマとなりました。

最上地域では菌床栽培によるキノコ生産が盛んで、菌床に広葉樹おが粉が用いられています。ただ、近年では最上地域で「おが粉」の生産は行われておらず、県内外の他地域から供給しているのが実態です。最上地域内で原木の供給・おが粉の生産・キノコの菌床栽培へと繋げることができないか、講演や話題提供があったところです。

その後、ワークショップが行われ2班に分かれて今回のテーマを実現させる為に必要な方向性・方法などの意見を出し合い班ごとに意見発表を行うなど有意義なセミナーとなりました。

協議会会員・最上支署・山形県各総合支庁・鮭川村・きのこ生産者・素材生産業者等の大勢の関係者が参加しました。

また、高谷林業株式会社・山形県森林研究研修センター・東北農林専門職大にも御協力をいただきました。



山形森林管理署 最上支署
〒999-5312 山形県最上郡真室川町大字新町字下荒川200-1 1
TEL:0233-62-2122/FAX:0233-62-2706

